User's Manual

DL-Gates ユーザーズマニュアル

YOKOGAWA
横河電機株式会社

B9852UG-01J
初版

はじめに

このユーザーズマニュアルは，http://www.yokogawa.co.jp/Measurement/F-SOFT/からダウンロードできるDL-Gatesの取り扱い上の注意/機能/操作方法などについて説明したものです。ご使用中にこのマニュアルをよくお読みいただき，正しくお使いください。お読みになったあとは，ご使用時にすぐにご覧になれるところに，大切に保存してください。ご使用中に操作がわからなくなったときなどにきっとお役にたちます。
なお，DLシリーズの取り扱い上の注意/機能/操作方法，Windowsの取り扱い/操作方法などについては，それぞれのマニュアルをご覧ください。

ご注意

●本書の内容は，性能/機能の向上などにより，将来予告なしに変更することがあります。また，実際の画面表示内容が，本書に記載の画面表示内容と多少異なることがあります。

●本書の内容に関しては万全を期しておりますが，万一ご不審の点や誤りなどお気づきのことがありましたら，お手数ですが，当社支社/支店/営業所までご連絡ください。

商標

●MS-DOS，Windows，およびWindows NTは，米国Microsoft Corporationの，米国およびその他の国における登録商標または商標です。

●AdobeおよびAdobe Acrobatは，Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

●本文中の各社の登録商業または商標には，TM，®マークは表示していません。

●その他，本文中に使われている会社名/商品名は，各社の登録商標または商標です。

履歴

●2004年2月　　初版発行

All Rights Reserved, Copyright © 2004 Yokogawa Electric Corporation

目次

はじめに..... ii
製品概要..... 4
ご使用にあたっての注意..... 6
1. DLシリーズとの接続..... 7
2.ファイルリストの表示..... 9
3.ファイル操作..... 12
4.その他の機能..... 14

製品概要

機能

DLシリーズのファイル転送

イーサネット/USB/GP-IB/RS232 インタフェースを使って，ディジタルオシロスコープDL750/DL1600およびDL7400シリーズとパーソナルコンピュータ間でファイルの転送ができます。本ソフトウエアを起動しDLと接続すると、接続されたDL内のファイルリストが、パーソナルコンピュータの画面の上側のウィンドウに表示されます。下側にはパーソナルコンピュータ内のファイルリストが表示されます。操作したいファイルを選択して、DLからパーソナルコンピュータにファイルを転送できます。またUSBを使用する場合は、パーソナルコンピュータからDLにファイル転送ができます。

複数のDLの接続

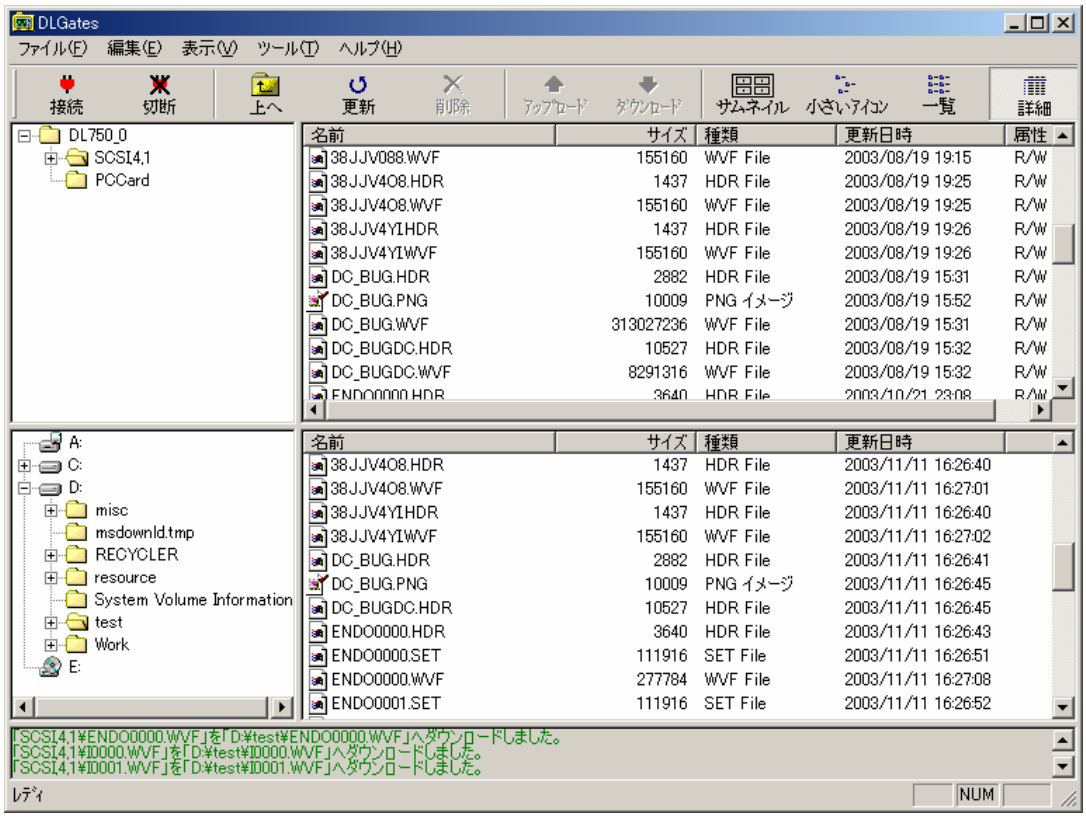
同時に 4 台までのDLと接続した状態で、パーソナルコンピュータとのファイル転送ができます。ただし、DL間の転送はできません。

サムネイルの表示

DL内の画像ファイルをサムネイル表示することがきます。

その他の機能

複数のファイルの一括転送、ファイル削除、フォルダ作成等ができます。



動作に必要なシステム環境

パーソナルコンピュータ本体

日本語Windows 2000，Windows Me,およびWindows XPが動作可能なパーソナルコンピュータで，Celeron 700MHz以上のCPUを搭載し，128MB以上(推奨は256MB以上)のメモリを有したものが必要です。
また，USBインタフェースをご使用になる場合は、接続するDLシリーズ用のUSBドライバが必要です。USBドライバについて詳しくは，DLシリーズの各取扱説明書をご覧ください。

CRT，プリンタ，マウス

ディスプレイ：SVGA/XGA(推奨はXGA以上)
color：65536色以上
日本語Windows 2000，Windows Me,およびWindows XPに対応したものが必要です。

GP-IBボード

GP-IBインタフェースを使う場合は，ナショナルインスツルメンツ社製のGP-IBボードまたはPCMCIAカードが必要です。

対応するDLシリーズと、ファームウエアバージョン

DL750 ：	Ver4.01以上
DL1600シリーズ：	Ver1.13以上
DL7400シリーズ：	Ver1.32以上

ご使用にあたっての注意

免責

当製品の使用に関して，直接または間接に生じるいっさいの損害について，責任を負いません。

使用上の注意

・本ソフトウエア使用中は，DLシリーズ本体での操作はしないでください。誤動作の原因になります。

・パーソナルコンピュータに装備されているスタンバイモードに入ると，本ソフトウエアの動作を継続できなくなるものがあります。スタンバイモードをオフにしてご使用ください。

・イーサネットインタフェースを使って，本ソフトウエアを実行した場合，回線負荷は最大で1Mバイト/sです。ご使用にあたっては，ネットワーク管理者にご相談ください。

・DLに接続中に接続エラーが出て接続できないときは，DL本体の電源スイッチをOFF/ONしてください。

1. DL シリーズとの接続

本ソフトウェアをお使いになる前に、パーソナルコンピュータと DL をケーブルで正しく接続してください。接続の方法は、お使いの DL の通信マニュアルを参照してください。
使用可能なインターフェースは、イーサネット/GPIB/RS-232/USB です。

● 接続リスト

ファイル > 接続 のメニューまたは、 アイコンをクリックすると、接続ダイアログが表示されます。既に定義された接続がある場合は、図 1.1 のようにリスト内にそれらが表示されます。

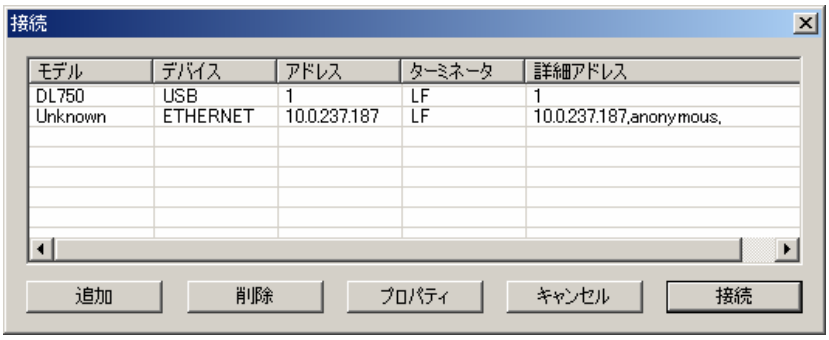


図 1.1 接続ダイアログ

● 新しい接続の追加

はじめてお使いになる場合は、接続ダイアログには何も登録されていません。新しい接続を追加するには、**追加**ボタンをクリックしてください。 図 1.2 のような接続デバイスダイアログが表示され、接続するインターフェースとその設定を行います。

接続するDLの以下のメニューにある設定と同じものを設定します。

DL750、DL1600: **MISC > Remote Cntl**
DL7400: **MISC > Remote Cntrol**

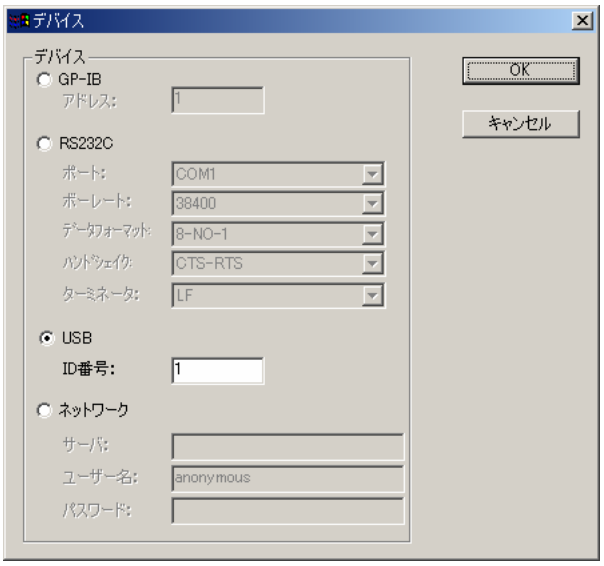


図 1.2 接続デバイスダイアログ

GPIB を選択する場合

アドレス:	接続する DL の GPIB のアドレスを設定します。0～30

RS232 を選択する場合

ポート:	パーソナルコンピュータのポートを設定します。 COM1, COM2, COM3
ボーレート:	接続する DL のボーレートを設定します。 1200, 2400, 4800, 9600, 19200, 38400, 57600
データフォーマット：	8-NO-1 に固定です。
ハンドシェイク：	CTS-RTS に固定です。
ターミネータ：	LF に固定です。

USB を選択する場合

ID:	接続する DL の USB の ID を設定します。 0～127

Ethernet を選択する場合

IP アドレス:	接続する DL の IP アドレスを設定します。
ユーザ名:	接続する DL の **User Account** メニューで設定してあるユーザ名を設定します。
パスワード:	接続する DL の **User Account** メニューで設定してあるパスワードを設定します。

OK ボタンをクリックすると、新しい接続が接続ダイアログのリストに追加されます。同時にその接続に対して自動的に状態をチェックします。正しく接続できると、モデルの欄に取得したモデル名が表示されます。接続できない場合は、モデル名に”unknown”と表示されます。

● 接続の削除

削除ボタンをクリックすると、選択した接続がリストから削除されます。

● プロパティーの変更

プロパティボタンをクリックすると、図 1.2 のダイアログが表示され、設定内容を変更することができます。**OK** ボタンを押すと変更が反映されます。

● 接続

接続リストから接続を選択し、**接続**ボタンをクリックすると、DL との接続を開始します。(接続したい機器の行をクリックするとその行が反転し選択されます。このとき、ダブルクリックすると選択し、接続を開始します。) 接続が確立されると、DL 内のファイルリストが上側のウィンドウに表示されます。

図 1.3 接続リストから接続を選択

● 接続の終了

ファイル > 切断 メニューまたは、 アイコンをクリックすると、接続を終了します。

Note:

- ファイル転送中は、接続を終了できません。
- DL 内のファイル数が多い場合には、接続に時間がかかります。
- DL750 では、RS232 のボーレートは、19200 以下のみサポートされます。

2.ファイルリストの表示

● パーソナルコンピュータのファイルリスト表示

本ソフトウエアを起動すると、図 2.1 のように、パーソナルコンピュータ内のファイルリストが下側のウィンドウに表示されます。ファイルリストは、名前、サイズ、種類および更新日時で並べ替えることができます。

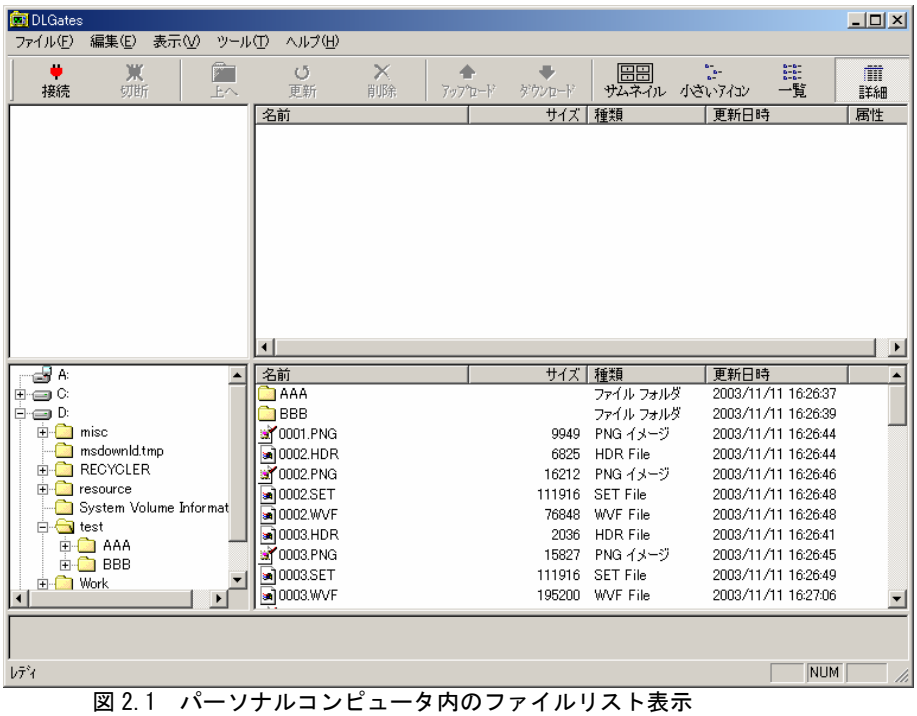


図 2.1　パーソナルコンピュータ内のファイルリスト表示

● DL のファイルリスト表示

DL との接続が確立すると、図 2.2 のように、接続された DL 内のファイルリストが、パーソナルコンピュータの画面の上側のウィンドウに表示されます。ファイルリストは、名前、サイズ、種類および更新日時で並べ替えることができます。

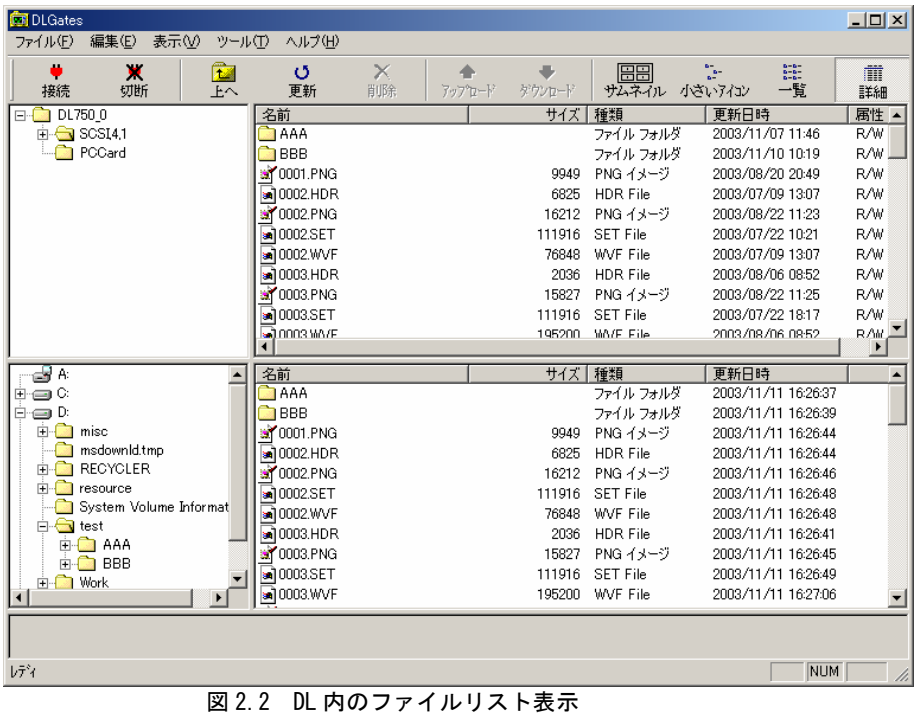


図 2.2　DL 内のファイルリスト表示

● 画像ファイルのサムネイル表示

表示 > サムネイル メニューまたは、ツールバーの**サムネイル**をクリックすると、図 2.3 ように DL 内の画像ファイルをサムネイルでします。画像ファイル以外は、アイコンを表示します。表示用サムネイルファイルがない画像ファイルは、アイコンが表示されます。

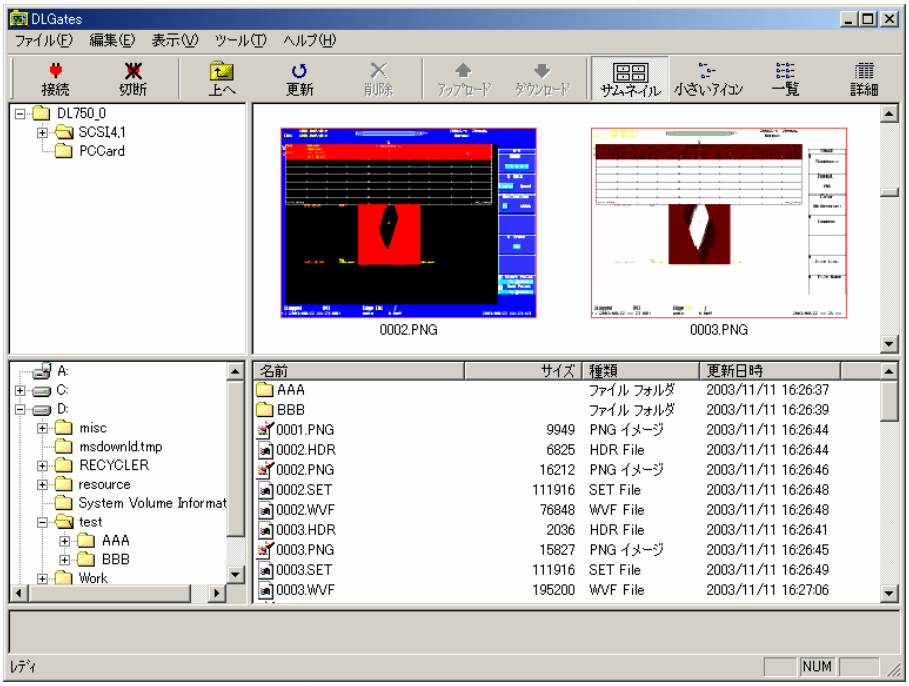


図 2.3　画像ファイルのサムネイル表示

● サムネイルの表示サイズの設定

ツール>　オプション メニューをクリックすると、図 2.4 のようなダイアログが表示され、サムネイルの表示サイズを変更できます。サイズを選択して、**OK** ボタンをクリックします。

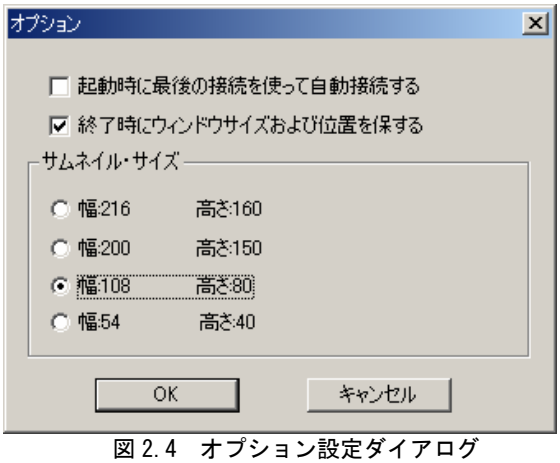


図 2.4　オプション設定ダイアログ

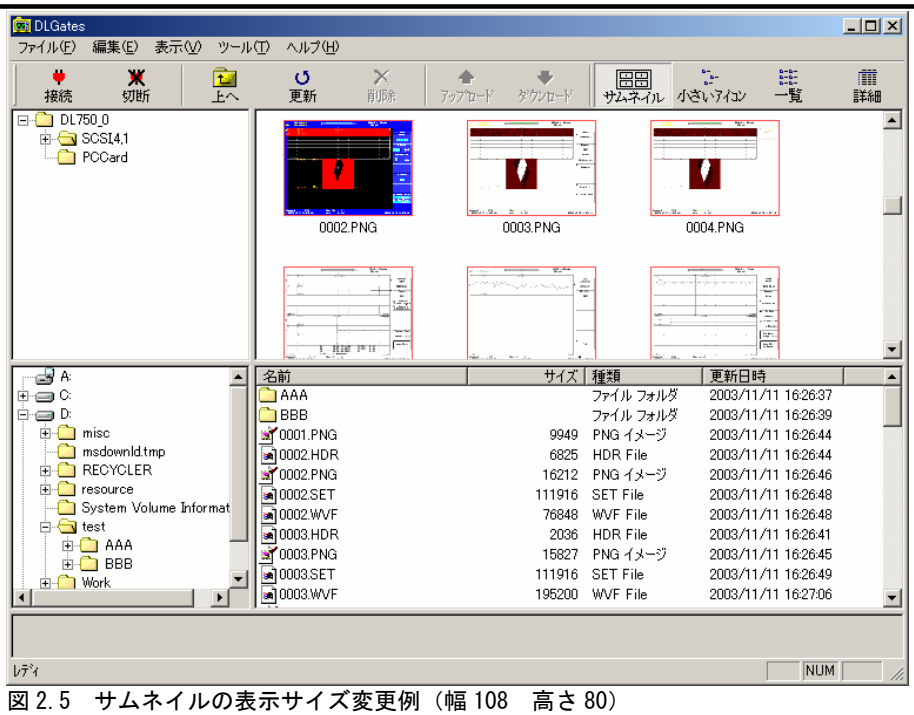


図 2.5　サムネイルの表示サイズ変更例（幅 108　高さ 80）

Note:

・DL750 の、Real Time ドライブは表示されません。（アクセスできません。）

3.ファイル操作

● DL からパーソナルコンピュータへのダウンロード

DL のファイルリストからファイルを選択し、ツールバーの**ダウンロード**アイコンをクリックすると、選択したファイルを DL からパーソナルコンピュータへダウンロードします。このとき、ファイルは複数指定できます。転送の状態は、最下部のログウィンドウに表示されます。

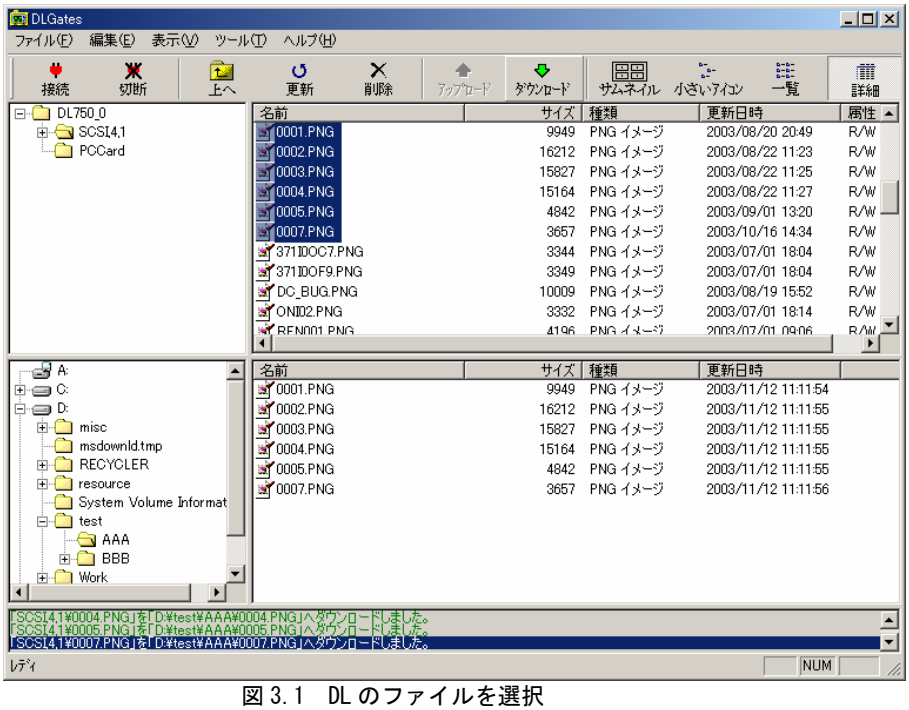


図 3.1　DL のファイルを選択

● パーソナルコンピュータから DL へのアップロード

パーソナルコンピュータのファイルリストからファイルを選択し、ツールバーの**アップロード**アイコンをクリックすると、選択したファイルをパーソナルコンピュータから DL へアップロードします。このとき、ファイルは複数指定できます。転送の状態は、最下部のログウィンドウに表示されます。

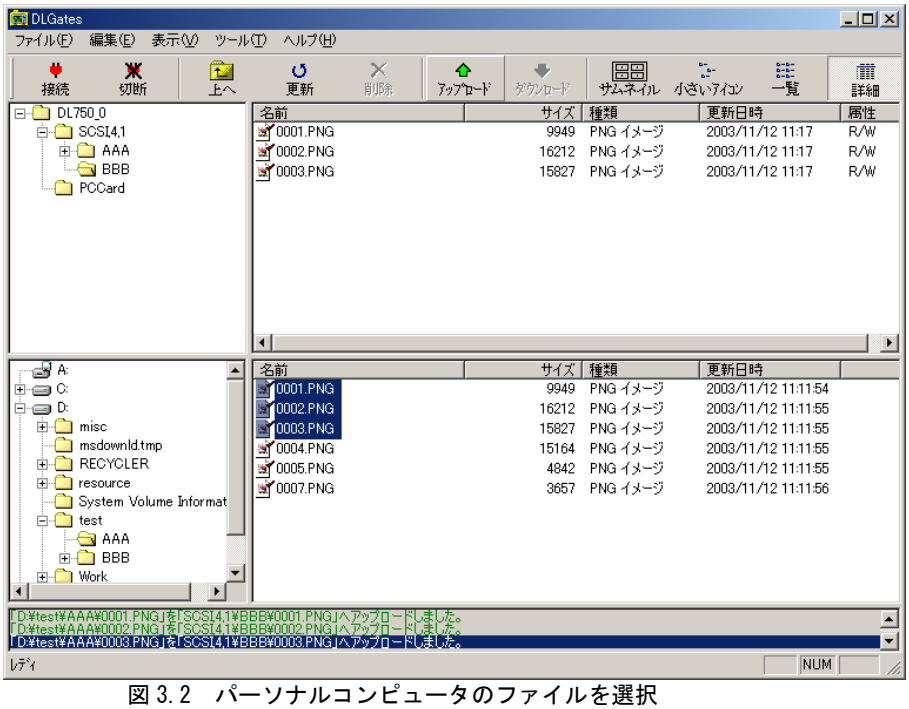


図 3.2　パーソナルコンピュータのファイルを選択

● ファイルの削除

ファイルリストからファイルを選択し、ツールバーの**削除**アイコンをクリックすると、選択したファイルを削除します。

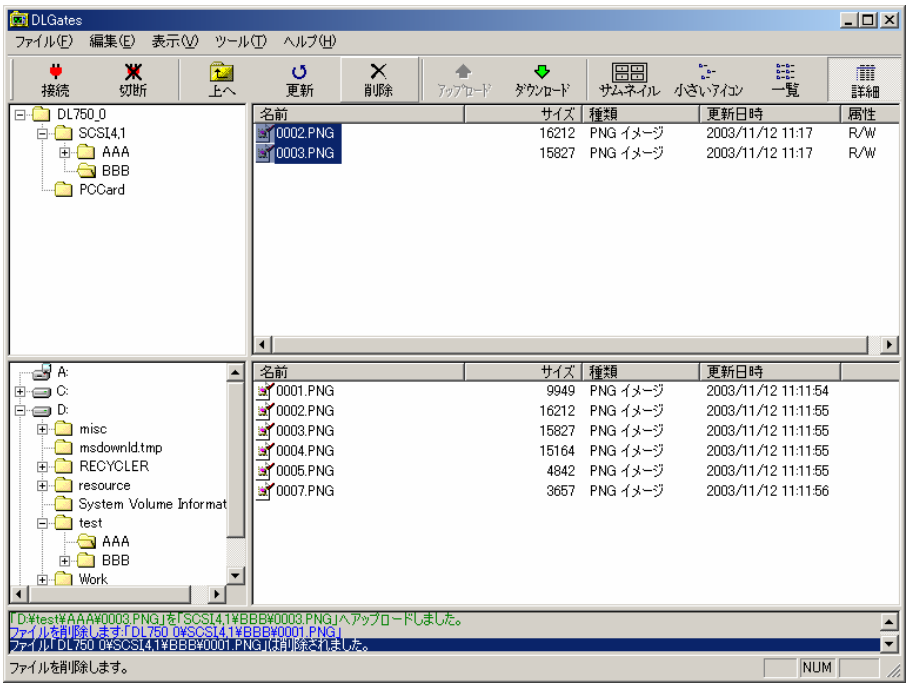


図 3.3　DL のファイルを選択、削除

● 新規フォルダの作成

ファイル ＞ 新規フォルダ メニューをクリックすると、フォルダ作成ダイアログが表示されます。フォルダ名を入力して **OK** ボタンを押します。

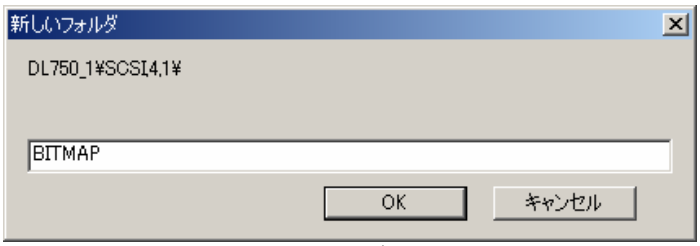


図 3.4　新規フォルダ名の入力

Note:

- WVF ファイルを使用する場合、HDR ファイルを必要とするソフトウェアがあります。その場合は、WVF ファイルと HDR ファイルを一緒に転送してください。
- アップロードは、USB を使用する場合のみ可能です。
- DL 内のフォルダ名は、アスキー文字（英数字等）のみ使用できます。全角文字は使用しないでください。
- DL 内の画像ファイルを削除すると、その表示用サムネイルファイルも同時に削除されます。
- フォルダの削除はできません。

4.その他の機能

●複数台の DL との接続

本ソフトウェアは、同時に４台までの DL と接続できます。
図 4.1 は、DL750 と USB で接続し、DL1600 と RS232 で接続している例です。

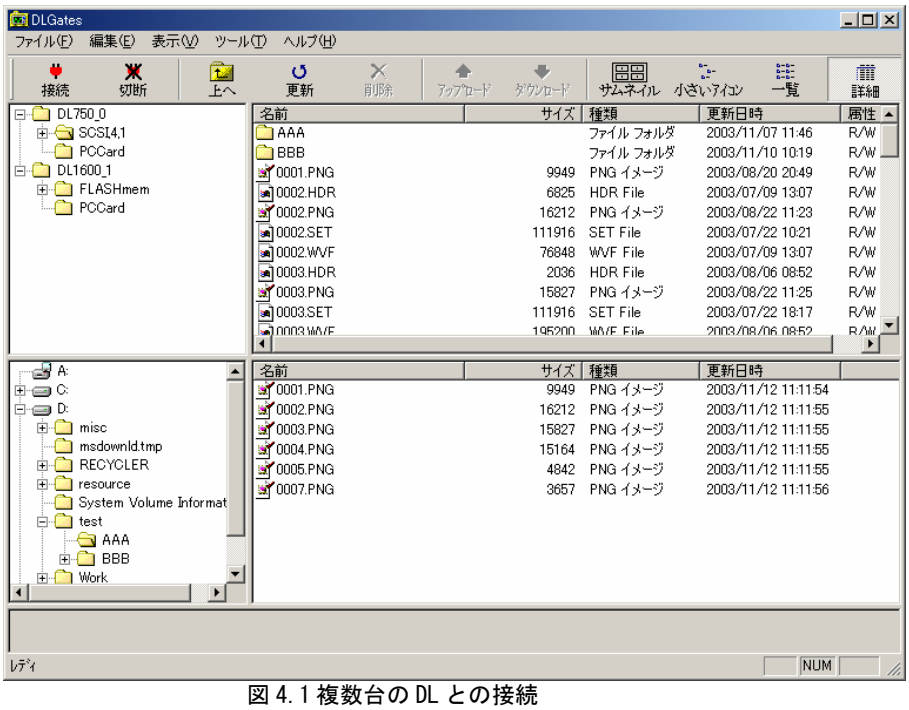


図 4.1 複数台の DL との接続

●次回起動時の設定

ツール > オプション メニューをクリックすると、図 4.2 のダイアログが表示されます。その設定を変更することにより次回の起動時の状態を選択できます。

・起動時に最後の接続を使って自動接続する。
　　次回の起動時に現在の接続先に自動的に接続します。

・終了時にウィンドウサイズおよび位置を保存する。
　　次回の起動時に現在のウィンドウの状態が反映されます。

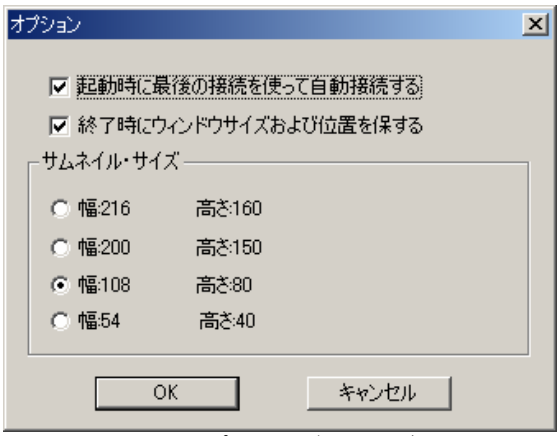


図 4.2 オプションダイアログ

Note:

・設定情報は、“config.xml”に保存されます。